

入院に必要な物品

入院申込書
母子手帳
診察券
下着類
(必要時)ナプキン 適宜
バスタオル2枚
タオル 2~3枚
スリッパ
お風呂用具一式
イヤホン(テレビ用)
箸・スプーン・湯飲み等
ティッシュペーパー 1箱
洗面用具一式

入院の日は入院される方へ(1階 4番窓口)にお寄りになり、朝9時までにA4病棟においでください。

注意事項: 入院期間中自家用車は当院駐車場に置いておくことはできません。

患者様自身が自家用車を運転しての入院はおやめ下さい。

この用紙(クリニカルパス 切迫早産)は入院診療計画書を兼ねています。





入院時忘れずにご持参下さい。

主治医氏名 _____ 印

指示受け看護師 _____

病名: 妊娠 週
せっぽくそうざん
切迫早産



	入院日	入院期間	退院日
説明 指導	入院時 ・主治医が入院・処置について説明します。 (夜間・休日入院の場合は病棟の医師が説明し、後日主治医が改めて説明を行います。) ・看護師が入院生活について説明します。		・主治医より次回受診日などについて説明があります。 ・看護師が退院後の生活や注意点について説明します。
診察 処置	・早産を予防するため、医師の指示でお腹の張りを抑える点滴を行います。この点滴はポンプを使用して、少しずつ持続的に投与していきます。夜間は看護師が点滴の流量・残量などの確認に巡回します。針を刺しているところが腫れたときや痛いとき、ポンプのアラームが鳴ったときは看護師に教えて下さい。 ・必要に応じて血液検査を行い、貧血や感染の有無などを見ます。 <div style="border: 1px solid pink; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">副作用として動悸や手のしびれ、頭痛などの症状が出る事があります。そのような場合は看護師にお知らせ下さい。</div> 点滴 : 5%ブドウ糖500ml + ウテメリン の24時間持続点滴 (原因として子宮内感染が疑われる場合は抗生物質の点滴を行います。)	・赤ちゃんの心音とお腹の張りを観察するために、妊娠28週以降は1日1回以上お腹に分娩監視装置をつけます。(午前中)特に医師の指示がなければ、朝・午後・夜にドップラーで赤ちゃんの心音を聞きます。 ・適宜超音波検査を行い、赤ちゃんの大きさを見ていきます。  症状が改善されたら徐々に点滴の量を減らしていき、最終的には点滴から内服薬へ変更となります。	・退院診察を行い、子宮頸管の状態を見ます。  内服薬で症状が安定していれば退院となります。
動静	点滴をしていても、お腹が絶対に張らないというわけではありません。できるだけ横になって安静にしましょう。(点滴中は原則的にA4病棟内での安静となります) ポンプは長時間コンセントが抜けた状態が続くと、バッテリー切れでアラームが鳴ります。 トイレ・洗面以外でお部屋を出る時は、15分以内・1日2回までにして下さい。 医師の許可があればシャワーに入れます。シャワーの時にはいったん点滴の針を抜いて、終わったらまた点滴を刺しなおします。 シャワーの日は月曜・水曜・金曜で、午後からとなります。		
食事	27週までは常食、28週以降は産前食になります。お食事後は、ロビーに出された下膳車へ下膳してください。 お腹が張るなど下膳が困難な場合には看護師が下膳をしますので、そのままテーブルに置いたままにしておいて下さい。		
排泄	トイレ		

退院指導

- ・退院後はお腹の張りぐあいをみて、少しずつ家事を始めましょう。
- ・お腹が張りっぱい時は横になって休むようにしましょう。それでも張りがおさまらなかつたり、出血や腹痛などの異常時には予約日以外でも受診して下さい。
- ・次回受診日には必ずおいで下さい。



注1)病名等は現時点で考えられるものであり、今後検査等進めて行くに従って変わり得るものです。

注2)入院期間については、現時点で予想されるものです。

患者氏名 _____ 印 家族等氏名 _____ 印 (患者との続柄: _____)

済生会新潟第二病院 産婦人科
(代) 025-233-6161
切迫早産 04.12.1

